

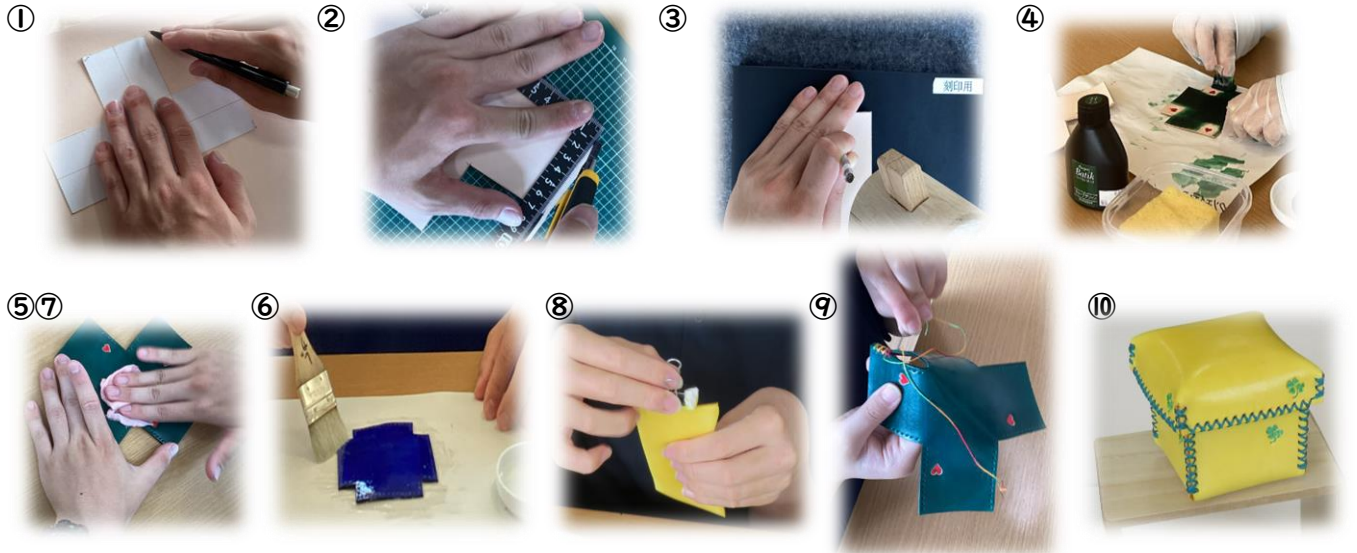
革いいBox



材料には、牛革を使用。牛革を使うことで表面の艶や質感、牛革自体の硬さもあって、一層高級感を感じる一品となりました。手縫いクロス縫いでカラフルな糸を採用し、色彩も楽しめるように工夫しました。2本の針で縫い付けていますので糸のほつれの心配もありません。光や周りの環境で変化していく革製品の良さを感じ取ってください。

何を入れるのかは、購入されたお客様のお好み次第。蓋がついているので、中の物が落ちる心配もありません。大事な物をそっとしまうのもよし。爪楊枝入れとして、そっとテーブルのアクセントに。玄関の宅急便用の印鑑入れに。さらには、ちょっとしたお飾りとして飾るなど使い道はいろいろ。ぜひお試しください。

～革いいboxができるまで～



製作工程

～革いいboxができるまで～

- ①型取り 型紙に合わせて線を引く。
- ②切り取り カッターで線に合わせて切る。
- ③刻印 叩く力を均一にする。
- ④染色 差し染めと拭き染めをする。色ムラなく染める。
- ⑤磨き 艶が出るまで磨く。
- ⑥色止め レザーコートをぬる。
- ⑦磨き 艶がでるまで磨く。
- ⑧コバ磨き トコノールでコバをきれいにする。
- ⑨手縫い クロス縫いをする。
- ⑩完成

～実際にご購入されたお客様の意見～

- ちょっとした小物入れに使っています。
- さりげなくリビングに飾ってあります。大きさも丁度よく、なんともかわいいスタイルで気に入っています。

～生徒の製作に関する思い～

- 3つの辺が縫い終わると、最後の辺を縫うときに箱の口が狭く針が入らず苦戦します。でも苦戦した分出来上がったときの嬉しさが倍増、自分の分も欲しくなっていました。
- 私たち革班では、この『革いいbox』の進化として今後は、マトリョーシカのように、これらが入る『ちょっと大きな革いいbox(仮)』、さらにそれらが入る『だいぶ大きな革いいbox(仮)』を製作試作段階中です。来年の展示の目玉としてご期待ください。